



岡崎西高校 卒業生の声



アドバイザーのみなさんによる励ましの言葉などでモチベーションを高く保つことができ、受講後のチェックテストやアドバイスタイムで、より学んだことを定着させることができました。

北海道大学 文学部 人文学科
千廣 彩香さん(2022)



マナビスの最大の利点は、通常の学校や塾の授業よりも速いペースで単元を習得できるという点です。受験勉強を進めるにあたって大きな力となり、名古屋大学合格という結果につながったと思います。

名古屋大学 文学部 人文学科
岡本 晃弥くん(2020)



マナビスに通って良かったことは、質の高い授業を受けることができ、アドバイザーさんから様々なアドバイスをいただけたことです。

金沢大学 人間社会学域 法学類
加藤 圭一郎くん(2020)



初めはうまく勉強する習慣をつくれずにいましたが、先生方が辛抱強くやれと言ってくださったことで、徐々に習慣がついてきました。

愛知教育大学 教育学部 義務教育専攻
菅井 勇斗くん(2021)



アドバイザーの方々に協力していただいて勉強の計画を立てていただきました。そこから、共通テストの前まであまり成績が伸びませんでした。本番でいい点数を取って合格することが出来ました。

静岡県立大学 食品栄養学部 食品生命学科
森本 夢侑斗くん(2022)



岡崎西高校 卒業生の声



塾のみんなが頑張っているのを見て自分ももっと頑張ろうという思いが湧いて来て最後までやりとげました。

東京海洋大学 海洋工学部
海事システム工学科

宮地 芳晴くん(2022)



マナビスを選んだ一番の理由は、周りと比べることなく自分のペースで自分に合った勉強の習慣をつけることができる点でした。マナビスにいる間は自分のことだけを考えることができたのでとても心の支えになりました。

愛知県立大学 外国語学部
中国語学科

畔柳 真歩さん(2021)



マナビスには高めあえる友達がたくさんいました。マナビスの先生や友達がいたから頑張れました。

静岡大学 工学部 電子物質学科

大岡 瑞季くん(2020)



マナビスはアドバイザーの先生方に質問しやすい環境が整っているところが魅力だと思います。映像授業で理解しきれなかった部分をアドバイスタイムを通して説明してもらえることで、やりっぱなしや中途半端な理解を避け、知識の長期的な定着につなげることができました。

福井大学 工学部 建築・環境都市工学科

東 桜子さん(2022)



自分の苦手分野に力を入れて見る事が出来たりチェックテストやアドバイスタイムで苦手な所を炙り出したりと苦手が潰せる所が凄く良かったです。

静岡文化芸術大学 文化政策学部
芸術文化学科

石原 瑠奈さん(2021)



マナビスは映像授業なので基礎から始めても速いペースで実践レベルまで実力を持っていけます。そのおかげでスタートが遅かった僕でも志望校に合格することができました。

中央大学 総合政策学部
総合政策学科

小林 大瀬くん(2020)



岡崎西高校 卒業生の声



毎月しっかりと予定をたてていくため、自分ではいい加減に立てていた予定のダメな所がさらけ出されて先を見越して勉強することの手助けとなりました。また、日曜は甘えて朝が遅くなりがちでしたが、早くから勉強する習慣ができました。講座は細かいところまでいきとどいていてよく分からない所までしっかり分かりました。

高崎経済大学 経営学部 経営学科
岡田 吉彬くん(2022)



マナビスのテキストで化学を根本から理解できるような仕組みになっており、本質を理解でき、最終的には得意科目にもなりました。また僕は野球部に所属しており多忙でしたが、スケジュール管理によって効率よく勉強を行うことができました。



立命館大学 理工学部
環境都市工学科
坂本 侑太くん(2022)



おすすめは、22時30分に寝て、5時に起きるルーティンです。マナビスでたくさん勉強できました。

信州大学 医学部 保健学科
千菊 日愛さん(2022)



塾の先生が電話などで悩みを聞いてくださり、再び勉強に向かうことができ、後期入試まで戦うことができました。

愛媛大学 社会共創学部
産業イノベーション学科
岩原 章太くん(2021)



マナビスに入る前は、勉強時間と成績が比例しておらず空回りをしていましたが、高2の3学期に入会して、模試では志望校のランクも上げていくことができました。

名城大学 理工学部 電気電子学科
中西 玄くん(2020)



入試に必須な問題も細かく教えてくれて、受講を通して基礎から応用まで身につけることができました。アドバイザーの方々も喋りやすく、辛い受験を少しだけ楽しく過ごせました。

南山大学 経営学部 経営学科
畑田 桃果さん(2022)